

＜株式会社エフエム東京 第 525 回放送番組審議会＞

1. 開催年月日：令和 8 年 2 月 3 日（火）
2. 開催場所：エフエム東京 11 階大会議室
3. 委員の出席：委員総数 6 名（社外 6 名 社内 0 名）

◇出席委員（6 名）

ロバート キャンベル委員長	佐々木 俊 尚 委員
松 田 紀 子 委員	山 口 真 由 委員
柴 崎 友 香 委員	福 里 真 一 委員

◇欠席委員（0 名）

◇社側出席者（5 名）

唐島 夏生 代表取締役社長執行役員
内藤 博志 取締役執行役員コンテンツ事業局長
宮野 潤一 執行役員編成制作局長
砂井 博文 編成制作局制作部長
高橋 智彦 編成制作局制作部チーフプロデューサー

◇社側欠席者（1 名）

蘭 有紀子 編成制作局編成部長

【事務担当 宮野放送番組審議会事務局長】

4. 議題：番組試聴（55 分）
『TOKYO FM サンデースペシャル
明治 presents 歌でつなぐ 100 年 Melody of meiji』
2026 年 1 月 18 日（日）19:00～19:55 TOKYO FM

〈議事内容〉

議題 1:最近の活動について

■2025 年 12 月度 聴取率調査結果

ビデオリサーチ 2025 年 12 月度の首都圏ラジオ合同聴取率調査（2025 年 12 月 8 日～15 日）において、以下のとおり、主要 3 区分においていずれも在京首位を獲得しました。

男女 18～49 歳 : 単独首位 ※単独は 25 年 6 月度以来、トップは 8 月度以来

男女 12～59 歳 : 単独首位 ※単独は 25 年 6 月度以来、トップは 8 月度以来

男女 12～69 歳 : 単独首位 ※単独は 25 年 6 月度以来、トップは 8 月度以来

12 月度は、前回 10 月度で苦戦した 30～40 代女性のスコアが大きく回復、またボリューム層の 50～60 代男女においても前回よりスコアが上向き、前回逃した在京トップを奪還することができました。また、課題としていた聴取分数も各番組の特長を生かした演出で前回より伸ばすことができたほか、ウエイトを占める平日生ワイド番組もコアターゲット層で主要 8 ワイド番組が同時間帯トップを獲得するなど、全体的にスコア上昇する結果となりました。なお、個人全体の SIU（全局聴取率）も前回の 3.8%より 2 ポイント上昇し 4.0%でした。

次回 2 月度調査（2 月 2 日～8 日）においても、引き続きリーチ拡大と演出面の工夫に取り組んでまいります。

■2025 年 12 月 14 日（日） 『NISSAN あ、安部礼司』 “ビヨンド・ザ・20 年! 安部礼司大感謝祭” 開催

TOKYO FM をはじめとする JFN38 局ネットで毎週日曜 17 時～放送中の『NISSAN あ、安部礼司』は、2025 年 12 月 24 日（日）10 時～17 時、日産グローバル本社ギャラリーで、番組放送開始 20 周年を祝うメモリアルイベントを開催いたしました。当日は全国から 2.1 万人を超えるリスナーが来場し、午前 10 時から様々なコンテンツで盛り上がり、17 時の公開生放送には平原綾香やゴスペラーズをゲストに迎えたスペシャルドラマをお届けしたほか、同日 radiko オリジナルチャンネルの生配信プログラムも実施。ラストは会場に残るリスナーと TEAM 安部礼司との握手会で大盛況に終わりました。



▲来場リスナーとの集合写真



▲シークレットゲストのゴスペラーズ



▲来場リスナーとの集合写真



▲会場限定の生ラジオドラマ



▲出演者とのふれあいタイム



▲リスナーを巻き込んだ特別企画

議題 2 : 番組視聴

『TOKYO FM サンデースペシャル

明治 presents 歌でつなぐ 100 年 Melody of meiji』

2026 年 1 月 18 日 (日) 19:00~19:55 TOKYO FM

【番組概要】

今回ご試聴頂くのは、2026 年 1 月 18 日 (日) に放送した特別番組『TOKYO FM サンデースペシャル 明治 presents 歌でつなぐ 100 年 Melody of meiji』です。

2026 年は明治チョコレート 100 周年のイヤー。誰もが口ずさむことができる「明治チョコレート」の歌が歌い継がれてきたように、日本の音楽シーンには歌い継がれてきたたくさんの楽曲があります。この番組では、「次の 100 年も歌い継いでいきたい曲」をテーマに、街の方々の声や、音楽を紡いできた FM パーソナリティのメッセージと共にお届けしました。パーソナリティをつとめたのは、TOKYO FM でもレギュラー番組を担当する、今話題のマルチクリエイター・こっちのけんと。「次の 100 年も歌い継いでいきたい曲」を紹介したのは、坂本美雨（『ディア・フレンズ』）、LOVE（『ALL-TIME BEST』）、ハマ・オカモト（『THE TRAD』）。自身もミュージシャンであり、TOKYO FM で音楽&トーク番組を担当するパーソナリティたちが、次の 100 年も歌い継いでいきたい曲とその理由を語り、リスナーたちへ届けました。



【委員の意見および社側説明】

（「○」委員意見／「■」社側意見）

○「100 年後に受け継ぎたい曲」をテーマに、曲と曲へのコメントをじっくり聴かせ、名曲を紹介するシンプルな形式で、とても聴きやすかった。「100 年残したい」という大きなテーマに対してコメントも良かったので、1 時間だと少し短く、もう少し聴きたかった。パーソナリティ陣のコメントや曲はじっくり紹介されていたが、街の人のコメントも、結構おもしろいことを話していたので、もう少し多く聴いてみたいなと感じた。

○こっちのけんと氏の声がとても落ち着いて聴きやすい声で、内容も的確。聴いていてホッとするような話し方でそれが曲紹介ともマッチしていて良かった。「光を浴びに行くような曲が多い」とか印象深い言葉選びをされていて、とてもいいなと思った。

○小説なども 100 年前から読み継がれているものがあるが、歌は、他の誰か、別の人が歌うことでまた新たな魅力を持ったり、新しい歌としてまた受け継がれるのが音楽ならではの、良いところだと思う。美空ひばり氏の歌う「からたちの花」が真ん中にいたのは今回の番組を印象付ける構成になっていた。

○「100 年後も歌い継ぎたい歌」というのは、特に斬新なテーマでもないが、聴いていて、「そう来るか」みたいな感じだったり、自分だったら何を選ぶのかみたいなものを想像しながら気軽に聴ける良いテーマだと思った。

○1 曲、と言われてしまうと、こっちのけんと氏や坂本美雨氏が家族の歌を選ぶ、というのは確かにそうなるのかな、と思った。個人史の中で語りたくなる気もすると思う。

○様々な予算が削られる中で、著作権料のかからない権利切れの曲を選ぶことがある。没後 70 年ということになっているが、よく使用されているのが 100 年前の曲とか。また著作権切れから選ばないといけないのか…と思うこともなくはなかったが、この番組を聴いて、よく考えると 100 年も残った曲たちなので素晴らしいものなのだと、ポジティブに捉えたいなと思った。

○こっちのけんと氏のトークを初めて聴いたが、声質が安定していて聴きやすかった。コメントにも独創性があり、自分の感じたことをしっかり言語化できている様子が随所に感じられて落ち着いて聴くことができた。

○スポンサーの冠番組なのであまり冒険はできない背景があるのかもしれないが、

可もなく不可もなくという印象。ただ放送時間を考えるとこのような番組が聴きやすくていいのだと思う。

○1 つ思ったのは、坂本美雨氏がお母さんの歌を選んだり、こっちのけんと氏がお兄さんの歌を選んだりしたところに身内感が出てしまっていて、且つ、構成上連続した流れだったので、結局身内びいきだなと思わざるを得なかった部分があった。

○「からたちの花」が流れてきたところは、古い感じがして少し聴き苦しく、逆に BGM で流れていたルイ・アームストロングは際立ってかっこよく感じた。あえていうなら、何かもう 1 つ縦軸のようなものがあった方が聴きごたえがあったのではと少し物足りなさを感じた。逆にあまり何も考えずに聴けるというか、聴き心地が良かったという面もあると思う。

○出演者が選んだ曲が「100 年歌い継ぎたい」というテーマに対して、あまりに私的で、お手軽に制作した感が見え隠れしてしまった。パーソナリティの方々が身内の歌を選んでるのが、テーマに対してとても浅い選曲に感じられた。

○ちょうど昭和 100 年ということで、あらゆる媒体、番組で 100 年を振り返った企画を実施している。昭和 100 年を象徴する有識者 100 人に話を聞くものだったり、政治家や偉人、名曲、名作などを取り上げたものなど。このテーマの企画は結構たくさんあったかと思うが、ちょっとこの番組はそれには及ばないと思った。坂本美雨氏が母の歌を選ぶその気持ちは分かるが、自身で母の歌とは言わずに、リスナーが知っていることだという前提にしているのが傲慢に聴こえてしまった。文脈や社会の中でこの音楽はどうだったのか、という話が全くなく、身内の歌を聴かせる企画ならそれはそれでいいのだが、このテーマの中で聴くと、どういうことなのだろうと思ってしまう。やはり 100 年と謳った以上は、それがどういう土壌から生まれたとか、人々にとってどういうことだったのか、パーソナリティからはそういう話が聴きたかった。

■参考になる意見を頂いた。

6.議事内容を以下の方法で公表した。

① 放送:番組「TOKYO FM Navi」

2月22日(日) 5:55~6:00 放送

② 書面:TOKYO FM サービスセンターに据え置き

③ インターネット:TOKYO FM ホームページ内 <https://www.tfm.co.jp/>